

VoLTE テレホンハイブリッド RFTH-1000

VoLTE Telephone Hybrid



VoLTE + テレハイ = 高音質でかんたん入り中

RFTH-1000 は、VoLTE 回線の活用により、従来のテレホンハイブリッドの機能をそのままに、電話入り中の音声品質を劇的に向上させます。

特徴

高音質

docomo の VoLTE (ボルテ) 対応携帯電話との接続でアナログラジオマイク (160MHz 帯、460MHz 帯) 相当の、7KHz 音声の伝送が可能です。

全国エリア

エリアは全国の docomo の VoLTE サービスエリアで利用可能です。移動中にも利用可能で LTE エリアから 3G エリアに移動しても、VoLTE から従来モードに移行するだけで接続は継続します。

運用性の拡充

従来の専用入り中装置を用いることなく、一般の docomo VoLTE 対応携帯電話にマイクアダプタを接続することで、放送品質の音声入り中が実現。突然の現場レポートにも柔軟に対応可能です。

低価格

従来のように高額な専用親機、子機の導入が不要です。本機 (親機) のみを導入すれば、子機は一般の docomo VoLTE 対応スマートフォンを利用可能です。音声定額プラン (カケホ: 24 時間国内かけ放題) で、1 端末あたりの月額回線費を 2700 円 (契約年次に応じて最小 2200 円) に固定にできます。故障時の代替、入り中機増設も安価かつ容易です。

高機能

NTT 一般加入電話、他社製端末、docomo VoLTE でない端末に接続する場合にも、一般のテレホンハイブリッドとして動作しますので、旧来のテレホンハイブリッドの老朽化代替に最適です。ハイブリッド部はデジタル方式を採用しており、送受信分離度が従来品比で劇的に改善しております。

設置容易

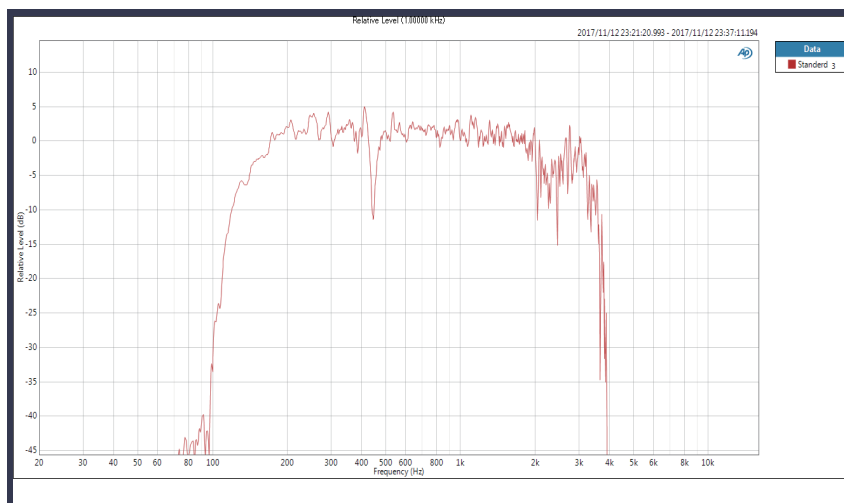
本体にアンテナを搭載したモデルの他、IDU、ODU 方式の用意があります。スタジオ・ラック室などノイズ環境から隔離し、最適な環境にアンテナを設置し運用することができます。

アンテナ→本体間は LAN によりデジタル音声伝送を行いますので、信号・音質の劣化はありません。

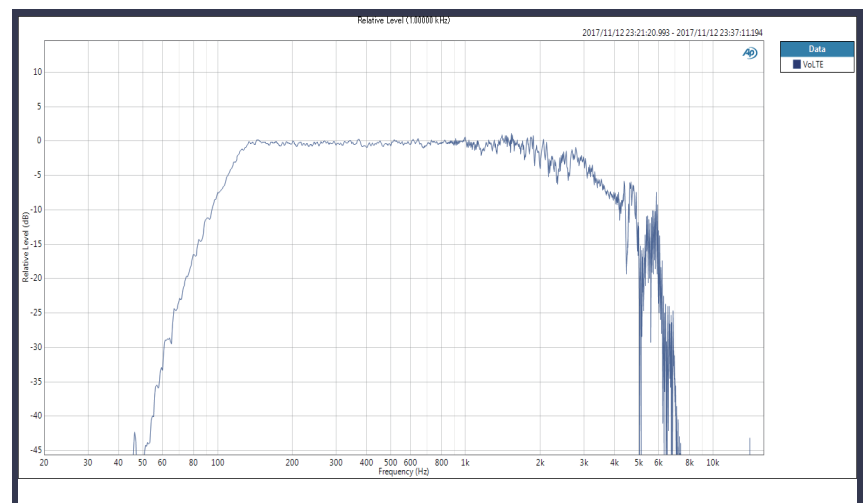
主な仕様

音声入力 (アナログ)	入力レベル+4 dBm (最大+24 dBm) 600ΩLRx2
音声入力 (AES/EBU)	48Kサンプリング110Ωx1
音声出力(アナログ)	出力レベル+4 dBm (最大+24 dBm) 600ΩLRx2
音声出力 (AES/EBU)	48Kサンプリング110Ωx1
TEL入出力	RJ-11
モニター (headphone)	6.3φステレオx1
制御端子	15ピンD-subコネクタ
LAN	10/100 Base-Tx1 (設定用)
USB	USB.20 TypeA x2 (アップデート用)
SIMカードスロット	標準SIMスロットx1
アンテナ端子	SMA-Jx2
伝送チャンネル	モノラル音声1チャンネル
使用回線	NTT docomo社LTE網
レベルメータ	11ポイントLED
インジケータ	電源、スタンバイ、電波状態
電源	AC100V~AC240V 30Wヒューズ(250V 3A)二重化
使用温度範囲	0°C~+40°C結露無きこと

音声周波数帯域

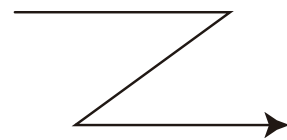


従来の CDMA 音声



VoLTE 音声

運用イメージ



docomo

VoLTE 対応スマートフォン